

「笑顔の輪プロジェクト」

東北被災地ボランティアバスツアー報告

実施日程 2011年9月16日（金）～19日（月）

場 所 宮城県石巻市 牡鹿半島沖小湊浜 & 石巻市内

参加者 18歳から64歳までの福井県民36名

9月のボランティア活動は、現地からの要望もあり、牡鹿半島にある小湊浜での漁業地支援と石巻市内2カ所での写真修復作業を行いました。

初日は、小湊浜での漁民へ直接的な支援活動を行いました。少人数に別れ漁師宅への派遣し、必要な作業をさせて頂きました。漁具の整理、製作、ロープメンテナンス、船の洗浄など。

この日は、漁師達と夕食を共にして震災当時の話しなどを聞かせていただくこともできました。震災後から全国各地から、こんな小さな漁村に多くのボランティアが来てくれることが驚きだったことそして、ボランティアの方々のおかげで、もう一度漁業をやろうと思えるようになったことなどを話していただき、必ず復興させるという漁師さんたちの強い思いを感じさせて頂きました。

二日目は、2班に分かれて、石巻中心部と市内から30分ほど離れた大川小学校近くで、共に写真修復作業をお手伝いさせて頂きました。写真も月日が経っていることで傷みも激しくなっていました。持ち主の元に返って欲しいと願いを込めて修復作業をさせて頂きました。笑顔いっぱいの沢山の写真を見て、笑顔の戻る日を願わなくはいられませんでした。

大川小学校の献花台にお線香をあげさせて頂きました。あまりにも無惨な校舎や周辺をみて歩き、涙をこらえるのがいっぱい、みな言葉がでませんでした。被災地は、まだまだ震災の痛みを感じながら生活している。福井にいと気がつかないですが、半年も経つが、津波の傷跡がまだまだ残っている。

団体としては、4度目の被災地、またボランティアを同行するのは2回目となり、現地のボランティアとの連携もとれるようになってきました。36名と大人数となり、食事や宿泊にも苦慮しましたが、参加者方の協力により無事活動を完遂させることができました。

災害支援チーム 未来ビレッジ JAPAN

ふくい未来ビレッジ・ネットワーク

<http://fmvn.org/>

津波で1F部分は壊滅の民宿



密集していた家は土台を残し流されていた　そしてゴミの山



私たちができることで活動させて頂きました



小湊浜は、1.2m 地盤沈下しており満潮時は防波堤は完全に水没する



石巻市内のボランティアベースにて食事&朝のミーティング風景



写真の修復作業



大川小学校献花台 屋上まで水が押し寄せ壊滅的被害の校舎



水路のドロ出し（震災にて水が排水されにくい）



貴重品の書き出し作業

